

KIFA Report *Vol. 102* Jul. 2017

河内長野市国際交流協会



ヤングアメリカンズ 最終日のショー

- 平成 29 年度総会
- KIFA 25 年のあゆみ
- ヤングアメリカンズ 2017 in 河内長野
- 多文化の部屋 ～幸せの国ブータンに行ってきました～
- 生活マナー講座
- 日本語サロンオープンデー
- コンニチハ！日本語サロンです



河内長野市国際交流協会 平成 29 年度 総会

平成 29 年度河内長野市国際交流協会の総会が開かれました。河内長野市長 島田 智明氏、市議会議長 木ノ本 寛氏、大阪府議会議員 西野 修平氏、河内長野市教育委員会教育長 和田 栄氏を来賓にお迎えし、設立 25 周年を迎えた今、将来の展望を含め当協会のあり方や役割などについて興味深いお言葉をいただきました。近年、外国、特にアジアの国々から介護などの仕事につくため入国してくる人々、観光目的で関西を訪れる外国人の数が予想を超えた増加を示しています。私たちを取り巻く環境が日に日に変化してきている昨今の状況で、多文化共生社会のますますの充実が必要とされることは予想に難くありません。また IT 化でもたらされるであろう未知の分野や、小学校での英語の必修化など、子どもたちを含めた社会全体の変革も待ち受けています。学業としての英語だけでなく、コミュニケーション手段としての英語力がますます求められていくことでしょう。アジア諸国の実例を参考にしつつ、ヤングアメリカンズなどの行事を通じ、子どもたちには、世界に目を向け進んでその中に入っていけるよう成長して欲しいなど、将来を見据えたお話を来賓の皆様から伺うことができました。

つづいて議長に柴 理梨亜氏を選出して議事を進め、平成 28 年度事業報告・決算報告、平成 29 年度事業計画案・予算案、人事変更などが提案・審議され、無事承認されました。また、当協会が NTT ドコモに働きかけ実現につながった、外国人をはじめ子どもや高齢者でも直感的に認識できる、ピクトグラムのエリアメールへの導入についての新聞報道も紹介されました。多文化共生社会がまた一歩進んだ感を強くしました。



ピクトグラムの例



島田市長



木ノ本議長



西野府議



和田教育長



KIFA 会長 山本 明彦

ご挨拶

今年度はいよいよ KIFA 設立 25 周年の年に当たります。節目の年らしく、市民の皆様が KIFA の存在をより身近に感じて、興味を持っていただけるよう努力していきたいと思います。色々難しい問題が山積しておりますが、我々は自分達のできる範囲の中で実行し、「外国人に優しい街づくり」に貢献したいと考えております。「多文化共生」に軸足を移しつつ、「市民の方々に気楽に外国の人・文化との交流も楽しんでいただく」という協会の発足時の思いも大事にしていきたいと考えております。みなさま引き続き熱いご支援をいただきますようお願い致します。

平成 29 年度 KIFA 役員 理事・監事

理事	会 長	山本 明彦	個人(河内長野ガス)
理事	副会長	榊井 繁春	河内長野市
理事	副会長	飯阪 保	(公財)河内長野市文化振興財団
理事	副会長	柴 理梨亜	個人
理事		藤本 真裕	河内長野市教育委員会
理事		曾和 宗陽	河内長野市文化連盟
理事		高橋 成明	河内長野ライオンズクラブ
理事		山崎 一弘	河内長野ロータリークラブ
理事		森野 章二	(学)清教学園
理事		中田恵理子	大阪府立長野高等学校
理事		奥埜 晃央	(学)千代田学園大阪千代田短期大学
理事		黒田 良子	河内長野市地域女性団体協議会
理事		生地 孝至	河内長野市歯科医師会
理事		大原 一郎	河内長野市日本中国友好協会
理事		讃岐己樹也	(社)河内長野青年会議所
理事		辻 秀和	個人
理事	会 計	上田雄三郎	個人
理事		榊村 博子	個人
理事		王 政	個人(中国)
監事		土生 裕史	河内長野市医師会
監事		寺本 悟	公認会計士





●河内長野国際交流協会の沿革

- 1992 河内長野市国際交流協会設立
初代会長に山本 定男氏就任
KIFA シンボルマーク決定
- 1994 アメリカインディアナ州カーメル市との間で
姉妹都市提携調印
- 1998 会長に東 武氏就任
- 2001 河内長野市長賞受賞
- 2003 会長に西浦 洋氏就任
大阪府知事賞受賞
- 2004 姉妹都市提携 10 周年記念展
- 2005 会長に山本 明彦氏就任
- 2009 カーメル市で姉妹都市提携 15 周年式典
カーメル市日本式庭園竣工式
- 2011 OSAKA LOVERS CM コンテスト
外国人の部 準大賞受賞
- 2012 河内長野市長表彰
- 2014 カーメル市で姉妹都市提携 20 周年記念式典
- 2017 国際交流協会設立 25 周年

★外国人向け講座、イベント

日本語サロン
着物、ゆかた着付け、盆踊り
生活マナー、生花、書道
お月見、紅葉狩り、ひなまつり
防災避難訓練、緊急地震速報
外国人のための年金相談
AED 講習

★交流イベント・講演会

語学クラブ
OSAKA IN THE WORLD
国際料理教室
著名人による講演会
日本・スイス国交樹立 150 周年記念イベント
世界情勢講演会
コミュニティ通訳・翻訳講習
日本語ボランティア講習
早稲田大学留学生とあそぼう
ホワイト・ホース劇団公演
インドネシアな一日
ヤングアメリカンズ・ジャパントゥア

★姉妹都市カーメル関係

姉妹都市交流訪問
カーメル国際アートフェスティバル参加
姉妹都市子ども絵画交換・絵画展
カーメル市民との交流会

★諸外国との交流

国際交流ハイキング、野外交流
各国からのホームステイ受け入れ
フィリピン レトラン学院との交流
デンマーク高校生との交流
インドネシア高校生との交流

★各国への支援活動

ネパール・カトマンズ小学校建設に協力
カンボジア小学校建設に協力
ガーナ学校トイレ建設
ネパールの子供たちへの文房具の支援
ハイチ地震チャリティ
フィリピンの台風被害者救援募金
ネパール地震チャリティ

★他団体のイベントへの参加

市民まつり
ラブリーホール主催ハロウィン
かわちながの世界民族音楽祭
ボランティアフェスティバル



KIFA 設立 25 周年記念事業

4 月 28, 29, 30 日 ラブリーホール

ヤングアメリカンズ 2017 in 河内長野

～若さ、楽しさ、熱気とリズム～

ゴールデンウィーク直前に始まった今年のヤングアメリカンズのワークショップは、初日、2 日目と徐々に盛り上がりを見せ、最終日は素晴らしいショーでフィナーレを飾りました。例年のことながら、子どもたちのめざましく成長していく姿は感動的でした。

今回河内長野に来てくれたチームは、ヤングアメリカンズの中でも選ばれた精鋭、アドバンスキャストたち 31 名。メンバーの大半はアメリカ国籍ですが、ヨーロッパやアジアなど世界各地から集まっています。優れた技量と実力を備えた彼らは、子どもたちの指導についてもエキスパートです。みんなと同じようにできない子がいると、必ずチームの誰かがついて、その子のペースに合わせつつも良いところを引き出し、ついには立派にステージで成果を発表できるところまで引き上げていきます。ラブリーホールの大ホールという大きな会場で、たくさんの観客の前で踊り、歌い、跳ね回る子どもたちの輝く笑顔は、何回見ても感動的です。



何ヶ月も前から準備を重ねて来たスタッフや関西各地から応援に来てくださったサポーターの皆さんのおかげで、今年も大成功のうちに幕を閉じることができました。最終日には、ヤングアメリカンズとのお別れに記念写真を撮ったり、サインしてもらったりと、あちこちに笑顔と少しの涙がありました。

東北地方の子どもたちにもこの喜びの輪を広げるため、寄付金を募って活動しているヤングアメリカンズ。彼らの活動が各地に広がること、そしてまた河内長野に来てくれることを願っています。





5月27日 市民交流センター(キックス) 講師: 辻 秀和さん



KIFA 設立 25 周年記念事業の一つとして、「多文化の部屋」が企画されました。これは、河内長野に在住あるいは在勤されている外国人や、旅行で外国に行かれたり、そこで生活されたことのある方をゲストに迎え、直接肌に触れた外国の話を聞き、その国の文化に接して異文化への知識、意識を高めようというものです。

第1回は、KIFA の理事であり、国際ロータリー第 2640 地区 2014～2016 年度ガバナーを務められた辻 秀和さんをゲストに迎えブータンの話をさせていただきました。

最近では、秋篠宮家の長女眞子さまが、婚約を前にして「幸せの国」ブータンに海外公式訪問されて話題になりました。従来、幸福になるためには物質的な発展を遂げる必要があるというのが経済学者の定説でした。しかし、ブータンは物質的な成長を積



むことが必ずしも幸福と結びつくわけではないと主張し、GNP に対して、国民

全体の幸福度を表す指標として「国民総幸福量 (GNH)」が提唱されました。



ブータンでは、働く人の 9 割が農民で、自給自足に近い暮らしをしています。野菜は無農薬栽培で、衣食住は、今も伝統的な生活を続けているそうです。教育費、医療費は無料でももちろん通勤ラッシュもなく、貧民街や物乞いは皆無だそうです。「殺生はしない」ということで、魚釣りも禁止されており、肉類は輸入に頼っています。一方で、野犬が野放し状態のため、狂犬病の感染などの問題も出ているそうです。

意外だったのが、主な産業が山間部の水を利用した水力発電による電気の輸出でインドなどに供給しているそうです。

繁栄と幸福、どちらも大切ですが、幸福の方がより大切だとしている国ブータン。私たちが、便利さや豊かな暮らしと引き換えに無くしてしまったものが残されているようです。国の近代化を進めながら、自然環境を保護し、伝統を継承しながら国民の幸せ度を保持するには、難しい点もあるようですが、いつまでも「幸せの国」であってほしいものです。



知っていましたか? 多文化サロン 2017 生活マナー講座

6月17日 市民交流センター(キックス)

外国人の方が、日本での生活で困らないように、冠婚葬祭や生活全般の日本のマナーについて勉強しましょうというのが、この講座の目的です。多文化共生活動事業部の池田マリアさんを講師に迎え、マナー講座にふさわしく、和室で、座布団に座って講座を聴きました。

今回は、次のテーマでお話をさせていただきました。

- ・お見舞いの際の心がけ
- ・冠婚葬祭 祝儀袋の種類と用途など
- ・訪問とおもてなし

まずは、肩慣らしということで始まった座布団の座り方。講師から「どうすればいいでしょう?」と言われても日本人でもうろ覚えなマナーで、和室という雰囲気もあってか、皆さんちょっと緊張気味でした。お見舞いの際のマナーについてお話を聴いた後、自己紹介をしました。今回の参加者は男性 2 名、女性 4 名でしたが、自己紹介をしたおかげで、外国の方は中国出身の男性が 1 名だけで他は全員日本人という、この講座では珍しい参加者の顔ぶれだとわかりました。ひょっとして隣に座っている人は外国の人では?という緊張も薄れ、いろいろな質問が飛び出してきました。日本人でも、今更というこ

ともあって、マナーについて訊きにくいこともあります。気軽に訊ける場でですので、日本の方にも是非参加してほしい講座です。また、韓国に結婚式で呼ばれていくことがあるので、逆に韓国の慶事のマナーについて聴きたかったという声もありました。私たちが外国に行った時に困らないように、外国の方から母国のマナーについても聴いてみたいものです。



講師の池田さん

いろいろ複雑で面倒なことも多い日本のマナー。なかなか覚えきれないところもありましたが、「雑学程度に考えてください」という講師の最後の一言に、不勉強な日本人としては、ちょっとほっとした講座でした。

次回は、7月8日(土)に違ったテーマで開催されます。皆さんもぜひご参加ください。

第12回 日本語サロンオープンディ

3月12日 市民交流センター(キックス) イベントホール

日本語サロン・オープンディは、日本語サロンで日本語を学んでおられる外国の方々日本語でスピーチをして、日頃の学習の成果を皆様に披露する場です。

今年は中国、ベトナム、インドネシア、カナダ、タイ、ベトナム出身の6名の学習者が元気にスピーチを行い、スピーチに続いて中国、ベトナム、カンボジア、フィリピン出身の皆さんが、日本や母国の歌を披露されました。イベントホールに用意された12のテーブルは日本語の学習者や見に来られた外国の方や市民でいっぱいでした。

トップバッターの中国の趙 曉陽さんは、流暢な日本語で携わっておられる建築設計の仕事について話してくださいました。ベトナムのファン・タイン・パオさんは、ちょっと緊張気味でしたが、来日して、別れて生活することになってあらためて感じた家族への思いと有り難さを、家族への手紙の形で伝えてくれました。インドネシアのプリアティさんは、母国の料理や食材をスクリーンに映して紹介しながら、日本にやってきて初めて経験した日本料理について驚いたことや感じたことを話してくださいました。日本の小学校で教師をされているカナダのユーエンさんは、生徒たちの学校での生活を見て、日本ではすることが当たり前になっている先生への挨拶や生徒たちによる教室の掃除、上級生の下級生への思いやり

が素晴らしいと感じたと話されました。観光ガイドをされているタイのキッティパン・ビンヨーさんは、タイでのロングステイについてのお話をされました。物価も安く、温暖で暮らしやすく、親日的なので日本からロングステイされる方も多いそうです。タイの観光地などをスクリーンに映しながらタイの素晴らしさを紹介していただきました。日本に来るのが夢だったという実習生として来日されているベトナムのドイ・ズイ・チュオンさんは、日本に来るための面接でとても苦労をしましたが、諦めないで頑張ったよかった、両親や家族の応援にとっても感謝していると話されました。

中国、ベトナム、カンボジア、フィリピンの皆さんによる歌の披露では、母国の歌のほかに「涙そうそう」や「里の秋」なども飛び出し、盛り上がりました。

その後は、各テーブルに別れて外国人の方たちと一般参加者がお話をする交流の時間です。テーブルを移動しながら、外国人の自己紹介から始まる日本語での交流タイムは20分の制限時間がとても短く感じられました。



■問い合わせ・申込み

河内長野市国際交流協会 (KIFA)
事務局

〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター(キックス) 3階

TEL: (0721)54-0002

FAX: (0721)54-0004

Eメール: office@kifa-web.jp

●日本語サロン スケジュール

月 \ 曜日	日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
7月 Jul	9・16・23・30	4・11・18・25	6・13・20・27
8月 Aug	20・27	1・22・29	3・24・31
9月 Sep	3・10・17・24	5・12・19・26	7・14・21・28

<開講場所と時間>

日曜日 Sundays 14:00~16:00

千代田公民館 2階

火曜日 Tuesdays 10:00~11:45

市民交流センター(KICCS) 3階

木曜日 Thursdays 18:00~20:00

ノバティ南館3階 ノバティホール

●語学クラス スケジュール



コース		英語 フリー トーキング	英語 (中級)	英語 (初級)	スペイン語 (初級)
時間		14:00~15:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30
開講日	7月	8	11・25	4・18	7・21
	8月	休講	休講	休講	休講
	9月	16	12・26	5・19	1・15

■生活マナー講座

日本で生活していて、マナーや習慣などで疑問に感じることはありませんか？お互いに気持ちよく接するために必要なマナーについて、事例に基づいて考えてみましょう。

と き：7月8日(土) 15:30~17:00
ところ：市民交流センター 3階 和室
講 師：池田マリアさん
参加費：無料
お申込：電話かメールで事務局まで

■アルゼンチンタンゴ & 国際フリーマーケット 国際交流協会 設立25周年記念事業



国際フリーマーケットと豪華アーティストによる
生演奏と情熱のアルゼンチンタンゴ

と き：7月16日(日) 11:00~16:00
フリーマーケットは原則 13:00 まで
ところ：市民交流センター イベントホール
入場料：無料・申込不要



Tango-Coqueta



Roberto & Mako



Ernest & Aya

■夏休みこども教室「世界とつながろう！」

世界の言葉や遊びをならっちゃおう。パスポート片手に出発だ！

と き：8月26日(土) 13:00~14:30
ところ：市民交流センター 4階 イベントホール
対 象：市内小学生 定員：20名
申込み・問合せ：市民交流センター 3階
夏休みこども教室実行委員会事務局(地域教育推進課内)

■国際料理教室 ～アルゼンチン編～

アルゼンチン料理ってどんなのかな？アルゼンチン出身の講師に習います。

講 師：柴 理梨亜さん
と き：9月2日(土) 10:00~14:00
ところ：市民交流センター 4階 食工房
参加費：会員 1,000円 一般 1,500円
定 員：先着30名(受付開始は8月5日)

■多文化の部屋

国際交流協会 設立25周年記念事業



国際交流協会設立25周年を記念し、身近な外国人の方、または外国旅行や海外滞在経験のある市民をゲストに迎え、気軽に楽しく語り合う会です。

第3回 「インドネシアの魅力」

ゲスト：テグ・アヌグラハさん
と き：7月22日(土) 14:00~15:30
ところ：市民交流センター 3階 会議室2
参加費：無料
定 員：先着20名
申込み：7月5日(水)から受付

第4回 「バックパッカーの達人 100カ国の旅」

ゲスト：浜田 知宏さん
と き：8月20日(日) 14:00~16:00
ところ：市民交流センター 3階 中会議室
参加費：無料
定 員：先着40名
申込み：8月5日(土)から受付

第5回 ①「中国のお話」②「中国のお菓子でお茶しよう」

ゲスト：劉 麗さん
と き：① 9月6日(水) 14:00~15:30
② 9月20日(水) 14:00~15:30
ところ：① 市民交流センター 3階 会議室2
② 市民交流センター 4階 食工房
参加費：① 無料 ② 500円
定 員：先着20名
申込み：① 8月5日(土) から ② 9月5日(火) から受付

■夏休み子ども絵画教室

国際交流協会 設立25周年記念事業



姉妹都市カーメルに送る絵を製作します。
当日参加できない場合は、一般応募も可能です。
詳しくは右のQRコードからご覧ください。



と き：8月8日(火) 13:00~17:00
ところ：市民交流センター 4階 創作工房
定 員：先着25名(対象：市内小・中学生)
参加費：300円
申込み：電話で国際交流協会へ(受付開始は7月5日)
持ち物：水彩画用具、水筒

コース		中国語 (夜クラス)	中国語 (昼クラス)	韓国語 (中級)	韓国語 (初級)	韓国語 (入門)
時間		19:00~20:30	13:00~14:30	13:00~14:30	10:40~12:10	15:00~16:30
開講日	7月	7・21	現在は 開講して いません	12・26	12・26	12・26
	8月	休講		休講	休講	休講
	9月	1・15		13・27	13・27	13・27

各クラス受講希望者が10名未満の場合は開講いたしません。ご了承ください。

ふるさとの味

チョウ ギョウヨウ
趙 曉陽(中国)



私は趙曉陽と申します。中国の東北地方の瀋陽の生まれ育ちで、北京の大学に進学するまで、ふるさとで約 20 年間暮らしていました。

瀋陽は中国の東北地方の 1 番大きい町で、約 1400 年の歴史をもっており、最後の封建王朝の「清朝」が北京を都に変える前の都でした。「瀋陽の故宮」は「北京の故宮」と並んで、世界で 2 つだけの完全な宮殿建築群と言われています。

「食は中国にあり」と言われるように、瀋陽でもおいしい名物料理がたくさんあります。その代表として「老辺餃子館」という店が作る餃子（老辺餃子と呼ばれています）が挙げられます。「老辺餃子館」の創始者は「辺福」であり、1829 年の創業から、すでに 188 年経ちました。2000 年ごろ世界一古い餃子専門店としてギネス世界記録に認定されたそうです。老辺



餃子の特長は 2 つあると言われています。一つは餃子の餡の肉であり、生のままで旬の野菜と混ぜて作るのではなく、まず肉を炒めて、それから鶏肉や豚骨で仕込んだスープで調合します。できた肉ははじめていろいろな旬の野菜と混ぜて餃子の餡になります。もう一つの特長は餃子の皮であり、それは従来の小麦粉と水を混ぜてできた皮と違って、少量の熟成したラード、沸騰したお湯と小麦粉で調合したものです。柔らかくて透明で、食感も見え目も最高です。当然、上記のよう



な誰でも入手できる材料と作り方だけが特徴なら、約 200 年間もの長い歴史の中で、1 人勝ちのように強いブランドを維持できないでしょうから、きっと後継者以外に伝承できないノウハウがあるのだと思います。

小さい頃、実家は瀋陽の中心繁華街である「中街」のすぐそばにあり、よく「中街」にある「老辺餃子館」本店に行っていました。特に、餃子を食べた後、同じビルの中の専門店でアイスクリームを買って、優しい祖母の懷で食べる至福の瞬間は永遠に忘れられません。光陰矢の如し、今は祖母が他界し、私も大人になり、異国で頑張っています。でも、ふるさとの山、ふるさとの川、ふるさとの味、それにその時の私の人生にかかわった大切な人々を心に刻んでおり、異国の旅で疲れる時、振り返ると、みんなはいつも目のすぐ前に浮かんで来て、私に応援して、前に進む勇気をくれます。ふるさとの瀋陽、いつまでも愛しております。



編

ジョージア（旧グルジア）から今年も、私の国際交流の原点になった女性が来日しました。20年間毎年やって来て、一年の半分は河内長野で暮らしています。

集

ニノ・カルミゼ（Nino Karumidze）さんは、日本大好きな画家です。20 数年前に KIFA が出来たころ初めてグルジアという国を知りました。

後

当時、グルジアはソビエト連邦から独立したばかりで、プロの音楽家をしていたニノさんので主人は、仕事が自国では無くなり、日本でオーケストラの仕事を見つけたところだったのです。私はグルジア語はもちろんのこと、英語も出来ませんでした。身振り手振りですぐにニノさん一家と仲良くなったのです。

記

大の親日家の彼女は、今回の来日前にはグルジア語に翻訳された、三島由紀夫の「金閣寺」を読破してきたそうです。学生の頃から三島の本はスルーしてきた私に、残り半年の目標が出来ました。一度くらいは手に取って読んでみましょう！

Annie

無料
メールマガジン
配信中！

KIFAの楽しいイベントや情報を
いち早くお知らせします。
お申し込みは、事務局または、KIFA
ホームページから。

<http://www.kifa-web.jp/>

